

理研 세미나

理研で

https://groups.google.com/forum/#!topic/swopp-announce/dhxx_6Kg6fY

というイベントがあったので聴講に。

はじめて理研 @ 日本橋にいったのだけど、

ディスカッション用のオープンスペースがどーんとあって素敵なところだった。

大きなタイトルなので、どんな話かな？と思っていたのだけど、

要は 3D Xpoint 時代を考えると、メモリレイテンシを考慮した

プログラムチューニングが大事だよ、ツール作ったよ、という話。

プログラムの "メモリレイテンシ感度" という尺度をはかる、とおっしゃっていて、

面白いな、と。

ちなみに、SSD 型の次の DIMM 型の 3D XPoint がでてきたときには、

どんなシステム構成になるんだろう。

... と考えてみると、そういえば 2009 年くらいに PCM に関して

ソフトウェア、ハードウェア、システムレベルのいろんな論文があったなあ、とか。